

茨城県建設業協会会員企業及び事務所職員を対象にした DX技術の見学会を実施

霞ヶ浦河川事務所

令和7年5月13日（木）、DX技術習得を目的に茨城県内の建設業協会会員企業および事務所職員を対象にしたDX技術に関する現場見学会をR6甘田入第4地区基盤整備工事の受注者である水郷建設株式会社の主催で実施。

参加したのは茨城県建設業協会に加盟する14社36名及び事務所職員18名。

水郷建設株式会社・茂木部長から自社作成したという当該工事のBIM/CIMモデルの説明及びARによる工事完成イメージを体験。その後参加者たちは5グループに分かれ、最新のレーザースキャナや測量機器、ICTを活用したバーチカルドレーン工法、当該工事現場で活用中の施工進捗管理アプリ・車両運行管理アプリ及び計測各種データ記録システム、GX建設機械の試乗を体験。

土浦出張所・郷原出張所長の挨拶「本日の見学会が地域のDXの取り組みの促進につながることを期待する」

水郷建設株式会社・茂木部長のコメント「今回の見学会を通して、DX技術導入により現場の効率が向上することを実感してもらいたい。これからもDX技術を活用して生産性の向上に努めたい」



バーチカルドレーン工法（ICT活用）の施工状況を見学



AR体験



最新の測量機器を体験



工事現場で活用中のDX技術の説明を受ける参加者



GX建設機械を体験する参加者たち

